

Panasonic ディズニーグッズ プレゼントキャンペーン
詳しくはクリック!! オリジナルマグネット ぬいぐるみセット など
キャンペーン期間 2013年1月25日(金)~3月31日(日)

NEWS

野菜残渣で高機能バイオ堆肥共同開発 デリカフーズグループ&茨城大など

01.29 13:38

飲食店などにカット野菜を販売しているデリカフーズ（東京都足立区）のグループ会社メディカル青果物研究所（福島県伊達市）が、科学技術振興機構（埼玉県川口市）による平成24年度JST復興促進プログラム（課題名「カット野菜残渣を活用した大容量ミミズコンポストによるセシウムフリーの高機能バイオ堆肥の開発」）に採択された。福島県の有機栽培農家は森林の枯葉などが放射能汚染により堆肥として使用できなくなり、そのストックも今年度に底をつき生産継続ができない状況にある。



カット野菜残渣を利用して福島県の有機農業を支えていく

メディカル青果物研究所およびデリカフーズは飲食店向けであるカット野菜を製造販売しており、メディカル青果物研究所においても毎日500kg程度も出る食品残渣（カット野菜屑）の有効利用法を検討してきた。その中で仕入れ先である有機農家が東京電力福島第一原子力発電所事故以降、落葉などの放射能汚染により有機農業に必要な堆肥の生産ができず、困窮していることに着目、これらの問題を解決すべく、放射性セシウム量は不検出であり安全性の高い有機資源であるカット野菜残渣を高機能バイオ堆肥に変換し、有機農家などを対象に販売することを目指していく。

今回のJST復興促進プログラムでは、茨城大学農学部（茨城県稲敷郡）と日本原子力研究開発機構（茨城県那珂郡）と共同で、カット野菜残渣を大容量ミミズコンポストによって生物的に分解し、コンポスト槽内において植物の生育を促進する植物共生菌「エンドファイト」の添加・増殖を促し、放射性セシウムの混入のない高品質・高機能なバイオ堆肥（エンドファイト添加ミミズ糞土）を開発する。大容量ミミズコンポストは、ミミズが堆肥化を行うため15~25度で堆肥化プロセスのすべてが行われ、エンドファイトなどの植物生育に必要な菌類の増殖が可能となり、従来の堆肥に比べて高機能なバイオ堆肥の製造に結びつけることができるという。

この大容量ミミズコンポストの導入によって、メディカル青果物研究所では一カ月あたり廃棄物処理費用の約15万円が削減でき、その分の費用を用いてコンポスト維持に専属の新規職員の雇用を創出することが可能となる。さらに、一日あたり製造される堆肥は約90,000円となり、年間では3,000万円前後の経済効果が見込める。将来的にはデリカフーズの食品残渣が10t/日程度にのぼり、最終的にはこれをメディカル青果物研究所で処理を行った場合、年間6億円程度の経済効果が見込めるとしている（一般のミミズ糞土はkgあたり300円程度で販売されており、その値段で試算）。福島県内の有機農家は、高機能有機肥料により、高付加価値産品である有機野菜を、維持し販売することが可能になる。



証券会社を選ぶなら比較.com

www.hikaku.com

比較サイト最大級!証券会社の解りやすい業者選択やキャンペーンなら「比較.com」

太陽光まだ間に合います/住宅用

www.solar-partners.jp

売電価格4.2円は22日以降でも大丈夫!

アゴダ・ホテル格安料金

Agoda.jp/Hotels

ダブル・トリプル ポイント獲得 次回の予約時に節約できちゃう

Ads by Google

人気ランキング 今日 今週 今月

- 1 「京都・東山花灯路」公式アプリ...
- 2 お弁当 今村美砂 4.9 パート...
- 3 松本 大著 『お金という人生の...』
- 4 東大生&東大教授考案「赤門机」...
- 5 らくらくホームベーカリー「マイ...
- 6 PM2.5飛来予測 2月25日...
- 7 TOKYO FM 『SCHOO...』
- 8 【奇稿】震災から2年 台湾で「...
- 9 こだわりの男せつけん「自然快頭...
- 10 「ステラMOOK 世界遺産 心...

もっと読む

当番の本日のオススメ!

更新 3月11日 10:25

- 【産創館レポート】株式会社マーク (大阪市西区)
- 【大阪甘味図鑑】パティスリーリスボンの「都島北通りシフォン」
- 【蓮風の玉手箱】歴史地理学者の川